

つなごちゃんだより

2022年度
8月号

〒177-0045 練馬区石神井台 3丁目 31番 4号 小規模保育園手をつなご石神井台

TEL 03 (6767) 1204

猛暑・大雨と気象の激しい夏になっています。その中でも子どもたちには涼しさを「目」で感じたり、汗をかいた後のシャワーの心地よさを「体」で感じたりできるようにと、保育の工夫をしています。

夏といえば私は近所の子もたちと、とことんどろんこ遊びをしていました。「遊びは子どもたちの主食。今喜びを与え明日に向かう力を作る」(子どもの権利条約 31 条ムーブメント宣言) 遊びは何かの目的のためにするのではなく、遊ぶこと自体のためのものです。保育園では子どもが自分で遊びを選んで、自分から遊べるようにおもちゃを配置しています。発達にあわせて、おもちゃを選ぶことも職員で勉強しています。

国連子どもの権利委員会は2019年、日本政府に対し「社会の競争的な性格により子ども時代と発達が悪されることなく、子どもがその子ども時代を享受することを保証するための措置をとる事」と勧告しました。子どもたちが子ども時代を力いっぱい楽しんで生きることが、子どもの幸せな未来をつくることにつながって行くと思うのです。

園長 浦山恵美子

今月のねらい

★1 歳児りす組★

- ・十分な水分補給と休息を取り入れ、暑い夏を快適に過ごせるようにする。
- ・水遊びや感触遊びなど、夏ならではの遊びを楽しむ。
- ・室内でも十分に身体を動かして遊ぶことを楽しむ。

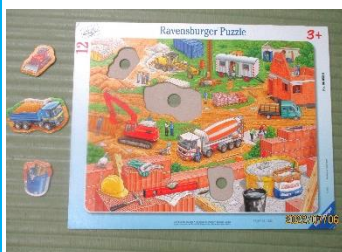
★2 歳児うさぎ組★

- ・夏の生活の仕方(汗を拭くなど)を経験できるようにしながら、適切に水分補給や休憩をとり快適に過ごせるようにする。
- ・保育士や友だちと一緒に夏の遊びを十分に楽しむ。(感触遊びや水遊びなど)
- ・生活に必要な言葉がわかり、自分の思いを言葉で伝えてやり取りを楽しむ。



新しいおもちゃが仲間入り！

(今月はりすぐみのおもちゃを紹介します)



パズル↑
車(12P)・動物(14P)
繰り返し取り組んでい
ます。

スナップ遊び→
大きさ、硬さも子ども
もがスナップを止めや
すい！いろいろな形を
つくっています。



←ポットン落とし
一本を太くして、重量
感が増しました。落ち
た時の音が違います。



今月の予定

17日(水) 身体計測
18日(木) 避難訓練

お知らせ

運営委員は

りすぐみ 新井さん
うさぎぐみ 能澤さん
に、お引き受けいただきま
した。よろしくお願いいた
します。

]



こちらのQRコードから保育園の
ホームページ・おたよりをご覧になれます。



子どもの様子 ～今月は可動遊具を使った遊びの様子です～

★りすぐみ★

今、りすぐみでは可動遊具が人気です。

牛乳パックで作った箱は、1人が出して並べ始めるとその様子を見ていたお友だちも集まってきます。気が付けばみんなで部屋全体にコースを作ったり、重ねて平均台のようにして跳んだり登ったりして遊んでいます。ひと通り遊ぶとお片付け。「よいしょ」「おもしろい」と言いつつもみんなでお片付けをしている頼もしいりすぐみです！

段ボール製のパーテーションは、電車の車体に見立てて「がたんごとん」と言いながら持って走ったり、先日はそれを床にも敷いてその上を歩いていて、電車のレールのような様子でした。遊びが広がっています。

自由に組んで形を変えて遊べる遊具です。
想像力を発揮していろいろな遊びができます。



★うさぎぐみ★

うさぎぐみは、大事にしているお人形を使ってごっこ遊びを楽しんでいます。最近は大きめのパーテーションや牛乳パックの箱を使って個別のお部屋を作り、「ここはお風呂ね」「ここごはんを食べるところ」などとイメージを共有して遊ぶことも多くなりました。

「2こもてるよ！」と力自慢したりしながら、協力して運んでいます。柱の周りにベンチを作って「図書館」にし、思い思いに絵本を持ってきて読んだり、そのうちベンチの上を歩いたり背もたれ部分をまたいだりして、「特設サーキットコース」に発展していました。

また、この頃は長くつなげて一本橋渡りをするだけでなく、斜めに立てかけて坂道を作り（何か所も）、工夫してわざと難しくして遊んでいます。



保育園の避難訓練、どんなことをしているの？②

火災

火災の時はとにかく素早く逃げられるように、裸足のまま外へ！散歩靴をカゴのまま持ち出し、外で履くようにしています。

防犯（不審者）

外遊び中に不審者が近づいてきたら…、保育園に不審者が入ってきたら…を想定して、年2回行います。担任のそばに素早く集まる、不審者を保育室に入れない、など毎年の反省をもとに実施しています。保育園で行う訓練では、当法人事務局の男性に不審者役をやってもらうことも。子どもたちも始めはびっくりしていますが、訓練が終わってからはちゃんと笑顔になってからバイバイしています。

水害

保育園は比較的高い場所にありますが、大雨によりマンホールから水があふれてくることを想定しています。先日の訓練では少し雨も降っていて、より想定に近い雰囲気で行いました。この時だけは特別にマンションに許可を得て、二階へ上がります。いつも入れない場所に少しワクワクしながらも、緊張感を持って参加することができました！

毎月避難訓練をしていると、子どもたちも慣れてきて「くんれん？」と聞いたり、“避難訓練ごっこ”をすることもあります。避難訓練を生活の一部として、身近に感じられるようにしていきたいと思います。